

CRA

名前：古澤 香菜さん（名古屋市立大学出身）
職業：CRA
勤務先：外資系製薬企業

①医薬品業界をリードするグローバル企業で、世界中の患者さんに貢献したいと考えたからです。様々な職種の中でも、世界の人々と協働でき、新薬創出を通じて世界中の患者様に貢献することができるCRA職を、5年生の冬頃から志しました。

②「グローバルに働く事ができる」「人の魅力を引き出すことができる」という漠然とした軸を持って就職活動を開始したため、コンサルタント、人材、公務員等、幅広く業界研究を行いました。自己分析を行うインターンシップにも何度か参加する中で、今の進路にたどり着きました。

③自己分析は就職活動だけではなく、その後の人生においても重要です。特に、「何に対して人生を使いたいか」という軸を持っておくことで、私たちの選択の優先順位が浮き彫りになります。就職先、家族を持つ事、家や車を買うことなど、これから先重要な選択をする機会は増えていくので、学生のうちに自己分析に時間を投資することは有意義です。

④人生は一度きりです。サークル、趣味、どうでもいいことも、やりたいことは全部今やっておくことが重要です。今という瞬間を豊かに生きてください。



MR

名前：森 慶祐さん（東北医科薬科大学出身）
職業：MR
勤務先：外資系製薬企業

①4年生の後期に、元MRの薬局経営者からMRを勧められたのがきっかけです。MRは広い視野で医療業界を見ることができる職種であると教えていただきました。多くの人に影響を与える仕事があったため、MRとして多くの医療機関を訪問することで、その医療機関に行く患者さんすべてに貢献できると考えました。

②5年生の7月～2月：実務実習の合間で製薬会社のインターンに参加（10社ほど）

5年生の3月：エントリーシートの作成

6年生の4月：WEBテスト受験

6年生の5月：外資系の面接開始（4社中2社内定）

6年生の6月：内資系の面接開始（6社受けたが全滅）
大まかな流れは上記の通りです。

③多くの製薬会社のエントリーシートや面接で「学生時代に最も力を入れたこと」について聞かれました。ですので、今現在力を入れていることと理由や目的について、ある程度文字化して整理しておくと思いいます。

④製薬会社は病院や薬局に比べ薬学生との接触が少ないため、進路の選択肢にしにくい面があるかと思ひます。一度製薬会社のインターンに参加し、製薬会社はこういうものだとある程度知った上で、最終的な進路を決めることをお勧めします。頑張ってください！



病院薬剤師

名前：石渡 彩華さん（日本大学出身）
職業：病院薬剤師
勤務先：亀田総合病院

①私が現在の就職先を選んだ理由は、学生の頃から緩和医療に興味があり、将来的に取り組んでいきたいと考えていたからです。就職先を選択する際には、緩和医療に薬剤師が携わっている点を最も重視しました。5年次に、論文を通して亀田総合病院がオピオイド回診という取り組みを行っており、薬剤師が治療に介入していることがわかったことで、就職先として考えるようになりました。また、亀田総合病院は地域を代表する大規模な病院であり、多くの症例に触れることができるという点も魅力的でした。

②4年次から夏休みなどの長期休暇を利用して積極的にインターンシップに参加しました。病院のインターンシップは募集が少ないですが、大学のインターンシップ紹介制度を利用したおかげで比較的簡

単に参加することができました。また、インターンシップとは別に亀田総合病院では、薬剤部キャンプという企画が開催されており、それに参加したことが就職先として選ぶ決め手となりました。

③自分の興味がある分野を見つけておいた方がいいと思います。これは就職活動だけでなく、日々の学習のモチベーションアップにつながるはずです。また、学生時代にいろいろな経験しておくことは人生を豊かにしてくれると思います。

④私は、学生時代の経験が日々の業務に役立っているように感じます。今は大変なこともあるかとは思ひますが、学生の皆さんが多くの経験をし、素晴らしい薬剤師として活躍してくれることを願っています。



やさしい臨床医学テキスト 第4版

【編集代表】星 恵子（聖マリアンナ医科大学客員教授）



“難しいことをやさしく解説”をコンセプトに、様々な疾患の「病気の成り立ち(概念)」から「患者の訴え(症状)」「病状・所見」「臨床監査」「治療」までの一貫した知識を、医療の第一線で活躍する医師を中心にわかりやすくまとめたテキスト。

★Point

患者に安全・適切な薬物療法を提供するために重要とされる「臨床推論」に必要な疾患の基礎知識が身につく

治療法の解説では「薬物療法」に加え、「食事療法」や「非薬物療法」などについても記載

各領域の主要な疾患に加え、実際の医療現場で大事な周辺疾患についても多数収録

詳細はコチラ



B5判 / 556頁 / 定価 4,600円 + 税

◆薬剤師、薬学生、MRなど疾患の基礎知識を身につけたい方におすすめの一冊です。◆薬学部・薬科大学で教科書として多数採用されています。

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ (<http://yakuji-shop.jp/>) または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。